



金岡南中

校報 9 月号 堺市立金岡南中学校

令和 8 年 9 月 1 日発行

学校教育目標

人間尊重の精神を基盤として

- ・学びの楽しさを知り、自分から学びに向かう生徒を育成する
- ・自分自身や周りの人を大切にできる生徒を育成する

校長室から

生徒の皆さんが、「悪い時間、悪い場所、悪い人の三つを重ねない」という安全・安心の原則を守ってくれたおかげで、金岡南中学校では夏休み中、大きな事故もなく、2 学期を迎えることができました。暑くて長い夏休みでしたがこの期間を利用して、様々な経験を積んだ人も多かったのではないのでしょうか。

嬉しいことに、部活動などでは素晴らしい成果の報告も数多く寄せられています。堺市中学校総合体育大会では、最後まで全力で活躍した 3 年生が後輩たちに部活動の主力を引き継いでいく姿を見ることができました。伝統を受け継いだ 1、2 年生によって、金岡南中学校がさらに躍進することを楽しみにしています。

一方、長期予報によると、今後もしばらく暑が続く見込みです。夏休み期間中に頑張った分、知らず知らずのうち身体に負荷がかかっています。しばらくの間は睡眠と食事をしっかりとって、体力の回復に努めるとともに、休みの間に崩れた生活習慣を見直して、一日も早く生活のリズムを取り戻すように心がけてください。2 学期は合唱コンクールや金岡南中学校創立 50 周年記念式典と併せて開催される文化活動発表会などの大きな行事が予定されています。クラス、学年、学校の仲間たちと力を合わせ、素晴らしい思い出を創り上げる充実した時間を過ごしましょう。

校長室から その 2

首都圏直下型地震を想定した机上演習に参加したことがあります。阪神・淡路大震災が起きる前でしたから、省庁や産業界から召集された担当者には、どこかのんびりした雰囲気がありました。

しかし、休憩時間の雑談中に思わぬことが判明します。防災備蓄担当の通産省(現経産省)が用意したガソリンは、陸上自衛隊の災害支援用ヘリコプターに使えないのです。専用ジェット燃料で飛ぶことが省庁間で共有されていなかったのです。担当者の真つ青な顔を今でも思い出します。

危機的な場面ではしばしば「霧」が出ます。大切な情報が「霧」に包まれて見えなくなり、適切な判断ができなくなります。今回の熊本地震の際にも「霧」が現れ、避難所に必要なものが届かず、使えないものが大量に運び込まれたそうです。そうした事態を備え、ご家庭でも本当に必要な資材や飲食物等の備蓄を計画的に進めてください。

戦後 81 年

今年も終戦記念日の前後には、戦争を振り返る報道や番組がテレビやネットにあふれました。先の大戦の「記憶」という視点からみると、当時の徴兵対象(20 歳以上)だった男性はすでに 100 歳を超え、厚生労働省の統計によるとその数は全国で約 1 万 2 千人。つまり国民の約 1 万人に 1 人という割合です。さらに、一定期間にわたり戦争に従事していた方に支給される軍人恩給の受給者はいま、全国で 800 人足らずとなりました。このように戦争体験者のお話を直接聞くことが難しくなるなかで、戦火の記憶をどう次世代に繋いでいくのかが大きな課題となっています。そこで堺市では、堺大空襲の記憶を伝える「次世代の語り部」の育成に取り組んでいます。これは、市内の大学生たちが実際に戦争を経験した方々との対話を通じて資料などを作成し、新たな語り部として学校等で活動しているものです。

かつて、戦後 40 年を迎えたドイツでは、ヴァイツゼッカー大統領が「過去に目を閉ざす者は、結局のところ現在にも盲目となる」と呼びかけました。それから 40 年を経たいまでも、記憶を紡ぎ、歴史を学ぶことの意味を教えてください。大切な言葉ではないのでしょうか。

国際刑事裁判所 (ICC)

国際刑事裁判所 (ICC) の赤根智子所長がアメリカ政府による制裁措置の対象となりました。米国内の資産が凍結されるほか、クレジットカードの使用にも影響が及ぶと報道されています。また、アメリカ由来のシステムやサービスが利用できなくなるなど、制裁の影響は日常生活全般に及ぶようです。

ICC は国際社会における最も重大な犯罪である集団殺害犯罪、人道に対する犯罪、戦争犯罪、侵略犯罪を犯した個人を、国際法に基づいて訴追・処罰するための機関です。日本が連合国によって裁かれた東京裁判のように、戦争終結後に勝者が敗者を裁くために臨時に設ける法廷と異なり、史上初の常設の国際刑事裁判機関として 2002 年に設立されました。国際社会が協力して、こうした犯罪の処罰を徹底することを通じて、犯罪の発生を未然に防ぎ、世界の平和と安全の維持に貢献することを目的としています。

アメリカの制裁に先立ち、ロシアからも拘禁刑の有罪判決を宣告されている赤根所長は、7 月に大阪市公会堂で行われた講演やその後の会見を通じて、米国政府が各国に ICC からの離脱や弱体化への協力を働きかけている危機的状況にあると語りました。また、ICC が「法の支配を実現する最後の砦」だとして、「負けずに前進するには、ICC への揺るぎない支持が大切。法の支配の重要性を自分ごととして考え、できる行動をしてほしい」と呼びかけたそうです。私たちはいま、この世界を「力の支配」の時代に後戻りさせるのか、「法の支配」による平和で安定した国際社会を維持するのかを問われています。

ICC のロゴマークは、金岡南中学校と同じ「天秤」を、オリーブの葉で囲んだものです。金岡南中学校の皆さんの制服の胸を飾るエンブレムと同じ「天秤」のロゴマークの下で、世界の平和のために命懸けで働いている日本人がいることを忘れずにいてください。

9 月の予定

- 2 日 3 年生チャレンジテスト
- 9 日 見守る DAY
- 3 年生研究授業
- 14 日 教育実習終了
- 16 日 中間テスト①
- 17 日 中間テスト②
- 18 日 再試験日



防災

熊本の地震や千葉の水害など夏休み期間中の大きな災害はまだ記憶に新しいと思います。皆さんもご存知のように 9 月 1 日は防災の日で、1923 年に起きた関東大震災の教訓を忘れず、災害発生への備えを続けるための日とされています。私がかつて暮らした横須賀は海辺の街でしたので、街中のいたるところに津波による犠牲者を悼む碑が残されています。津波の到達するとは想像もできないようなちよとした丘の上にも被害を伝える碑がありました。ハザードマップによれば金岡南中学校周辺は津波災害の危険性はそれほど高くありませんが、豪雨等による水害への備えは忘れることができません。金岡南中学校の体育館は地域の方々にとって頼りになる安全・安心な避難所として利用していただけるように、昨年度、空調設備を設置しました。災害発生時の避難経路や家族間の連絡方法等について、一度、ご家族で話し合ってみてはどうでしょうか。

ホームページのご案内

金岡南中学校ホームページを随時更新しています。次の URL または QR コードから最新の金岡南の姿をぜひご覧ください。(URL <https://www.sakai.ed.jp/weblog/index.php?id=sakai114>)

